

審判上の確認事項

大会審判委員長

- 1、本大会は、2020年度 公益財団法人 日本バレーボール協会 9人制競技規則及び同競技実施要項により実施する。
- 2、試合はすべて3セットマッチで、プロトコール方式で行う。
- 3、公式練習の際には、エントリーされた選手とベンチスタッフのみが、アリーナに入ることができる。
- 4、監督またはゲームキャプテンが、タイムアウトの要求をする場合は、ハンドシグナルを示すこと。
- 5、選手交代は、1セットに6回まで要求することができる。また、同時に2組以上の交代を要求ができ、この場合、コートに入るすべての交代選手は、同時に選手交代ゾーンに入らなければならない。監督およびゲームキャプテンは組数を示す必要はない。
- 6、交代選手は、選手交代ゾーンに入ったときはコートに入る準備をしていなければならない。交代する選手は、交代の要求が認められたときは速やかに選手交代ゾーン内のサイドライン上で片手の手を上げ、副審の合図で交代する。
- 7、競技中断（タイムアウト、選手交代）の要求は、プレーがノーカウントとなった直後は認められない（要求することができない）ので注意すること。
- 8、タイムアウト終了の吹笛後は、プレーをする選手は速やかにコートへ戻ること。
- 9、コートを交替する際、チームが9人の選手のみで構成されている場合は、2名から3名程度の選手が、荷物をベンチからベンチへ運ぶことを許可する。（残りの選手は、ルール通りコートを交替する。）
- 10、セット間の中断の時間は3分間であるが、2分30秒後には副審の吹笛により両チーム共にエンドライン上に整列する。
- 11、軽度の不法な行為があった場合は、再発を防止するため、そのチームはゲームキャプテンを通じて口頭で警告される。チーム内の2回目の軽度の不法な行為については、その競技参加者に対し、黄カードが示され警告の制裁を受ける。
- 12、試合中コートが濡れた場合は、コート内の選手がタオル等を用いて、ラリー終了後速やかに拭くこと。コート外まで幅広く濡れた場合は、審判が判断して指示するので、その指示に従い対応すること。尚、モップの使用は、タイムアウト、セット間、もしくは審判が指示したときのみである。この場合は、ベンチにいる競技参加者が速やかに行うこと。
- 13、タッチネットの反則となるのは、両アンテナ間のネット（アンテナを含む）に触れた場合である。アンテナ外側のネットに触れても相手チームの選手のプレーを妨害しない限り反則にならない。
- 14、競技場内で「ガム」を噛んだり、帽子を被ることは許されない。

以上